

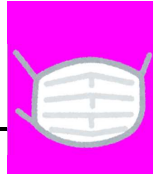
*新着本・既存シリーズ紹介

2020年12月16日

江戸取図書館便り 12月2号

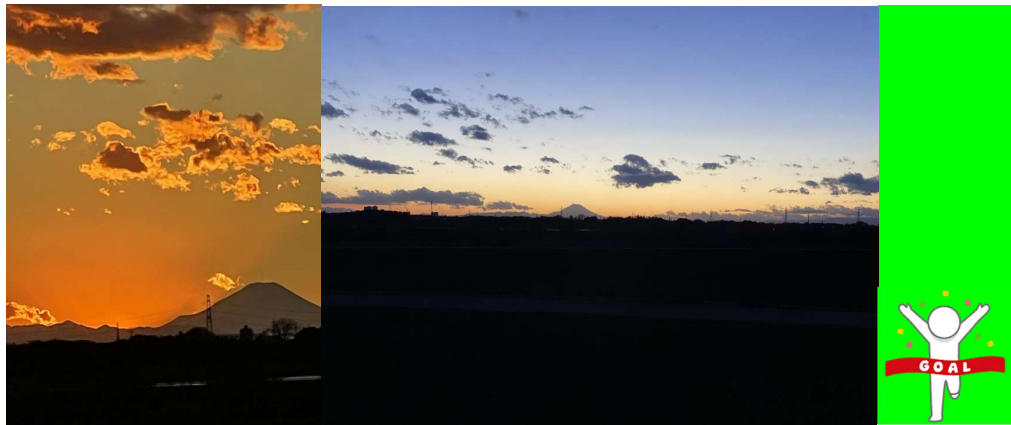


新着図書紹介



とうじ
*「冬至」(12月21日)の候 一年で一番昼が短くな
ふゆび まふゆび
り、冬日・真冬日の到来、日に日に寒さがつのります

*冬日とは、「①冬の太陽。冬の日差し。②最低気温がセ氏0度未満になる日」。真冬日とは、「最高気温がセ氏0度未満になる日」。(広辞苑)



2020年12月15日撮影 江戸取冬の名物風景「富士山・夕焼け」です。空気が澄み、気が引き締まります。 (『二十四節気と七十二候の季節手帳』山下景子著 200頁)「冬至、冬中、冬はじめ」ということわざがあります。歴の上では冬のまん中ですが、本格的な寒さはこれからだという意味です。

<風邪にも負けず、コロナをも寄せ付けず 初志貫徹>

新着は、「ニュートン式超図解シリーズ」です。「14歳の世渡り術」・「ブルーボックス」・「岩波ジュニア新書」は、新着・買い増しています。平凡社スタンダードブックスは、厳選されたエッセイ集です。



*日本史シリーズ紹介

*日本史の探究として、『天皇家の美術史』(全6巻)や「日本史講義」・「大学の日本史」・「動乱の東国史」・「悪の歴史」(日本編・東アジア編・西洋編中東編)・「敗者の日本史」のシリーズもあります。日本人には、「判官びいき」という、敗者をたたえる傾向があります。

